

平成 27 年度「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」(地域会議)

1 対 1 対談 (紀宝町) 会議録

- 1 開催日時: 平成 27 年 9 月 8 日 (火) 16 時 45 分～17 時 45 分
- 2 対談場所: 紀宝町防災拠点施設 5 階 防災研修室
(南牟婁郡紀宝町鶴殿 324 番地 役場庁舎隣接)
- 3 対談市町名: 紀宝町 (紀宝町長 西田 健)
- 4 対談項目
 - (1) 防災対策について(河川の洪水対策、中曾川改修、ダム運用見直し、孤立地区の解消)
 - (2) 新宮紀宝道路の早期完成～広域交通網の整備促進
 - (3) 特別支援教育の充実について

5 会議録

(1) あいさつ

知 事

西田町長におかれましては、今日は 1 対 1 対談の時間を確保していただきましてありがとうございます。まずはこの 9 月 4 日で紀伊半島大水害から 4 年を迎えるというようなことでもあります。お亡くなりになられた方々に改めて哀悼の意を表したいと思ひますし、そこから 4 年間紀宝町では西田町長はじめ町の皆さんが一致団結して復旧に向けて取り組んでいただきました。それに対して敬意と感謝を申し上げたいと思ひますしまだまだ道半ばのところもありますし、さらにもっと元気な紀宝町になっていけるように私たちも一緒になって取り組んでいきたいと思ひますので、どうぞよろしくお願ひしたいと思ひます。そして、来年は合併 10 周年をお迎えになられるということで節目の年をお迎えになられるということがありますので、ぜひそれに向けてのまた新たな街の像をどういふふうにご地方創生、人口減少の中に取り組んでいくか、ぜひ皆さんが協力していただくそんな節目になることを期待しております。

そしてまた台風 18 号も近づいてきておりますので、ぜひ引き続き警戒をしていただければと思ひますし、紀宝町におかれてはタイムラインを実施していただいておりますので非常に心強いところではありますけれども警戒の方、なにぞよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは、限られた時間でありますけれどもよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございます。

紀宝町長

失礼いたします。今日はあいにくの天気になってしまいましたけれども、知事

におかれましても、大変お忙しい中 1 対 1 対談ということで紀宝町まで足をお運びいただきまして誠にありがとうございます。また平素は町政につきましても大変なご配慮を賜っておりますこと、厚く御礼を申し上げるところでございます。ただ今知事のほうからもお話ございましたけれども、9 月 4 日で紀伊半島大水害から 4 年目を迎えたわけでありましてけれども、発災時から本当に知事には何度もこの当地に足をお運びいただきまして本当に元気な大きなお声で、励ましをいただきまして本当にありがとうございます。また知事のお顔を拝見する度に私どもも大変心強く力強く思ったところでございます。そういった中で、この春に小船紀宝線が開通という形の中で知事にもお越しをいただきまして皆さんとともにその開通の喜びを分かち合ったというところでございます。おかげさまで県の事業は大筋完成をさせていただきまして改めて感謝を申し上げたいと思いますし、これからもまた引き続きご支援を賜りますようよろしくお願いを申し上げたいと思います。それと、今 10 周年に言及いただきありがとうございます。ぜひとも来年 1 月 10 日をよろしくまたご配慮いただければ大変ありがたいと思いますのでよろしくお願いを申し上げます。それと、やはり来年の 5 月に主要国首脳会議が伊勢志摩で開催される形になりました。これは本当に知事のご努力、ご活躍、知事の人脈によりこの伊勢志摩サミットが実現したと思っておりますし、知事のこれまでのご活躍に対しまして、本当に敬意を表したいと思っております。伊勢志摩も、世界に向けて情報発信をしていく上において、千載一遇のチャンスだと思っておりますし、これからも知事を先頭にこのサミットが大成功に無事迎えられるように本町もしっかりと応援をしてみたいと思っておりますし、少し私どもの方も距離的に離れておりますので、どういうお手伝いをさせていただければいいのかな、あるいはどういう形の中でおもてなしをさせていただければいいのかということでも、中々ちょっと確定でないところがございますけれども、そういった部分もしっかりご指導いただきながら、私ども紀宝町は三重県の南端として、しっかりとご協力をさせていただきたい。そして大成功に終了させていただける、そういう状況に助力をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いを申し上げたいと思います。

(2) 対 談

1 防災対策について(河川の洪水対策、中曽川改修、ダム運用見直し、孤立地区の解消)

紀宝町長

それでは私の方から、この防災対策についてお話をさせていただきたいと思っております。申し上げるまでも無く、これまでも知事には大変ご配慮いただい

ることばかりでございますので大変恐縮でございますけれども、重ねてお願い申し上げたいと思います。

まず「河川の洪水対策」ということでありますけれども、こちらは熊野川の左岸の高潮堤ですね、これも4月に知事にもお越しいただきまして、ご支援をいただき、完成をさせていただいて、テープカット等もさせていただいたところでございます。現在も激特事業によって、国の直轄管理区間の河道掘削事業を行っていただいているところでございますけれども、本年7月の台風11号において、治水リスクの低減効果があったところでございます。国の発表によりますと、河道掘削によって1.2mぐらい下がったと言われておりますが、私どもとしても輪中堤の方を効果が発揮されて何とかギリギリ輪中堤も無事に対応させていただいたということで大変喜んでおりますので、引き続きこの事業についてもご支援いただきたいと思っております。また、直轄管理についてはそういった形で進めていただいているんですけれども、県管理の部分のところなんですけれども、こちら辺については非常に和歌山・三重・奈良ということで非常に複雑な管理状況になってございますけれども、しかし上流の方もかなり土砂の堆積によって上流の町が洪水の被害に遭うというような状況もございますので引き続きよろしくお願ひしたいと思っております。

また県管理の井田川改修については取組を進めていただいているところでございますけれども、引き続き予算等を確保していただきまして一日も早く完成されますようお願いしたいと思います。

その他の県の管理河川についても断面が不足しているところがたくさんございます。これは土砂が堆積したと思っております。先ほど直轄区間の所で河床掘削によって水位の低減がもたらされたということもございまして、手軽と言いますか、簡単と言いますか、すぐと言いますかそういった意味で一番効果のある整備の仕方ではないかなという思いもしておりますので、県の方も財政的には大変難しいところもあると思っておりますけれどもひとつよろしくお願ひしたいと思っております。

続きまして2点目は「中曾川の改修工事」でございまして、これも順次整備を進めていただいているところでございまして感謝を申し上げたいと思っております。早く完成していただきますようお願いしたいと思います。ただ、一番河口にある、河口が鵜殿港内になっているんですけれども、マイターゲートといって潮の満ち引きに寄って開いたり閉まったりします。これは波が来るたびにという状況ですので休みなく動いている状況でございまして、こういうことを申し上げるのは恐縮ですけれども非常に故障が多いので、その都度修理はしていただいているんですけれどもやはり津波の問題とか高潮の問題とか色々な形の状況が考えられますので、どういふのにするかは別としてスパッと

閉める、ゲートも必要ではないかということも、地元の方もご要望をたくさんいただいています。これによって影響を受ける所が 800 人ぐらい生活をしてみえますのでぜひともそういった部分についてもよろしくお願いを申し上げたいと思います。

それと「ダムへの運用の見直し」ですけれども、風屋ダム、それから二津野ダム、および坂本ダムにおける水利権の更新手続きが本年行われたところでございまして、更新に当たりましては県からも地元の状況をお聴き取りしていただく中で、当町の考え方を申し上げましたが、今後とも下流域の影響を考慮したダムの操作・運用ができる治水機能を持ち合わせた、多目的ダムへの機能転換を図るなど、人命を最優先としたダム運用を行うこと、また、長期にわたり続いている濁水問題に対しての抜本的な軽減措置を講ずること、流域市町の意向が反映されるように十分配慮することなどを、今後とも関係機関に対して県の方からも強く働きかけをしていただきますようお願いを申し上げたいと思います。

それと、毎年お願いをしているんですけれども、熊野川下流部にかかる橋梁につきましましては、熊野大橋と、熊野市紀和町和気と新宮市熊野川町を結ぶ三和大橋しかないところでございまして、両橋間の距離は 20km もあるということでもございます。大規模災害が発生し、落橋や道路が寸断された場合には、熊野川沿いの多くの集落が孤立し、緊急輸送路が確保できない状況になることが危惧をされております。紀伊半島大水害におきましても、浅里地区をはじめ熊野川沿いの地区につきましましては、長期間にわたり一般車両は通行できず、被災家屋の、田畑の災害復旧にも時間を要したところでもございます。その後も、大雨等の影響が予想される場合には、地区外避難も余儀なくされたところでございます。また、本年 4 月には皆さまのご尽力を賜りまして県道小船紀宝線が全線開通となりましたが、7 月の長雨によりまして、側面が崩落をして浅里地区から熊野市紀和町和気地区までが通行止めとなり、その後襲来した台風第 11 号においては、北檜杖地区から浅里地区間において県道が冠水したため、浅里地区・瀬原地区が、再度完全に孤立する状態になってしまいました。このような現状をお汲み取りいただきまして、また、地元自治会からも強く要望をいただいているところでありますので、ぜひとも熊野川中流への橋梁の新設につきましまして、ご検討を賜りますようお願いしたいと思います。

また、県道紀宝川瀬線につきましても、台風 11 号の際にも高岡地内が冠水により通行止めを余儀なくされ、高岡地内の一部の地域が孤立状態となり、透析患者の搬送に苦慮したところでもございます。県道紀宝川瀬線の高岡地内において、一部改修を行っていただく予定と伺っているところでございますが、浸水対策として、高岡地内と大里地内の改修を早急に実施していただきますよう

にお願いを申し上げます。

以上、対談項目 1 の河川の洪水対策、中曾川改修、ダム運用見直し、孤立地区の解消について、よろしくご対応お願いいたします。

知 事

さっきからおっしゃっていただいたようにまず熊野川の関係は、町長からありましたように国の河川激甚災害対策特別緊急事業が平成 28 年度の完成を目指して引き続き実施ということで、今年度は 85 万 m^3 の河道掘削と JR 熊野川橋梁の橋脚補強を実施するというふうに聞いております。国直轄管理区間より上流の県管理区間につきましては、浅里地区で砂利採取を実施させていただいております。平成 26 年 4 月までに 5100 m^3 の採取、27 年度も 5000 m^3 の採取を実施します。また、災害対策等緊急事業推進費の採択を受けまして、27 年 3 月から熊野市紀和町和気地内において土砂掘削を行っておりまして、28 年 3 月までに 10000 m^3 の掘削を行う予定であります。この同区間の河道掘削を推進するために直轄管理区間の拡大というのを国交省に 5 月下旬に私共の方も要望させていただきまして、7 月に開催されました紀伊半島知事会議においても、奈良県知事・和歌山県知事ともその直轄管理区間の拡大について共同提案していこうということで合意をしたところであります。今後も機会がある毎に要望をしていきたいと思っております。

それから、井田川でありますけれども、平成 27 年度に JR 付近の護岸工事をするので、河口から JR より上流にある宮ノ前橋付近、河口から 1.3km の護岸整備が完了します。未整備となっております宮ノ前橋から狼谷団地までの延長 0.39km の区間につきましては平成 28 年度から護岸整備に着手できるように 27 年度中に用地買収の完了を目指したいと思っております。

それから他の県管理河川の関係では、紀宝町内の河川で 66000 m^3 、これ 26 年度末時点ですけれども、土砂が堆積してきていると推定しています。24 年度から 26 年度で 12000 m^3 の堆積土砂を撤去しましたので、27 年度は紀宝町さんと一緒に選定しました相野谷川・那智川の約 6000 m^3 の堆積土砂を撤去する予定ですので、引き続き優先度の高い箇所から協議しながら進めていきたいと思っておりますし、地元や町の協力で残土処分の処分地を確保できたことを御礼申し上げたいと思っておりますので引き続きご協力をお願いしたいと思っております。

それから中曾川の改修につきましては、マイターゲートの部分について、昨年度修繕完了しましたので、適切にしっかり維持管理をして安全の確保をしていきたいと思っております。

それからダムの運用見直しにつきましては、電源開発の方で検討会、それから国と関係自治体の対策協議会、検証状況を検証していくということですので、

検証状況を確認していきたいと思いますが、濁水に関する国のマネジメントの継続という部分については、これもまた 7 月に紀伊半島知事会議でも奈良と和歌山県も濁水対策の国のマネジメント継続も共同提言していこうということで合意をしたところでもありますので、こういう要望をしっかりとしていきたいと思います。

それから、孤立地区の解消のための橋を架けることにつきましては、多分、今日 5 回目の 1 対 1 対談ですけれどもほぼ毎回ご要望いただいている、これを答えるのは中々心苦しいんですけれども、地形的な制約から事業費が膨大になるということから整備が非常に難しいという認識でおりますが、一方で孤立地区をなくしていくために水位状況を把握できるような量水標の設置とか、法面点検や道路パトロールの頻度を増やすとか未然防止のためのソフト対策というのをしっかりとやっていくことで、安全に命を守っていきたくと思っています。

それから小船紀宝線ですけれども現在災害復旧の準備を行っていきまして、年度内の復旧を目指してやっていきたいと思っています。

それから紀宝川瀬線につきましては 24 年度に紀宝町さんと地元の皆さんに相談させていただいて、高岡地内の未改良区間を整備するということになりましたので、その中で最優先整備区間というのを決めながら、道路を拡幅することと併せて、最大約 2m のかさ上げの整備も進めていくこととしておりまして、26 年度は用地買収に着手しましたので、今年度から一部工事にも着手する予定でございます。これから用地買収等も紀宝町と連携の元、地元の皆さんにご協力いただきながら進めていきたいと思っておりますので、引き続きのご支援よろしくお願ひしたいと思ひます。

紀宝町長

1 点除いて前向きに受け止めていただけてありがとうございます。ぜひとも引き続きお願ひをしたいと思いますけれども、河川の部分でやはり河道掘削による砂利を七里御浜の方に受け入れていただけておりますので、これは県の担当工事として受け入れていただいている分もございまして、これも引き続きまたよろしくお願ひをいたしたいと思ひます。

それとダム運用の見直し、これは 4 年前の水害を受けてダムは流入して来る分は出さないよとおっしゃっているんですけれども、それ以前の形の中で、水位を下げて対応する、多目的に利用していくというのは、これはやはり水害対策としては非常に大きな効果が期待できると私は思っています。そういった意味で今回の台風を受けて暫定水位ということで 1.2m 池原で 3m。これは台風の状態をみながらというお話なんですけれども私から地域の方で、下流の方ではまだ余力があるんじゃないかというふうには思っていますので、電源開発も

お金の稼ぎどころという部分があるので、中々おいそれというところではないんだらうと思いますけれども、この辺はしっかりともう少し腰を据えて、やはりこれからもお願いしていくということも大事だなという思いもしていますので、水利権の更新の際にもだいぶ申し上げて今回こういう形になったんですけれども、そういった意味ではこれからもお力添え、なお一層のお力添えを賜りたいというふうに思いますし、濁水の問題も3県ご参加いただいて総合的な治水対策協議会という形の中で33年に向けて一定の方向性を出していただきました。それぞれの機関も一生懸命非常時の作業を進めていただいていますし、これに関しては感謝をしていますし、一日でも早く完成していただいて、要するに23年の台風前の河川の状況に、何とか取り戻すような形にしていきたいなど。知事には、たくさん来ていただいていますけれども、ちょうど日曜日の観光用に発電を止めている時に見えることが多いものですから、その時は非常にきれいなんです。実際は非常に濁水の問題というのは地域にとって大変な思いを持ってこの川の状況を見ていますのでそういった部分を含めてよろしくお願ひしたいと思いますし、総合治水対策以外で計画されている部分の33年に戻ることなんですけれどもこれは今度の協議会の中では一番大きかったのはしっかりとチェック体制を取っていかうと、先ほど知事もお話をいただきましたけれどもチェックをしながら、そして検証をして実際の効果があつたか。無ければやはりどういうふうな形の中で、今後濁水については対応していくのかというのは、また新たな存在を考えていかななくてはならないのではないかと、そんな思いもしていますので、引き続きよろしくお願ひしたいと思います。

それとこれを申し上げておきたいんですけれども、4年前の災害に向けて我々の防災対策については一生懸命取り組んでいくということで、地域住民の皆さん方の防災対策意識は非常に高くございます。地域において自主防災の活動というのは非常に活発に行っています。そういった中で、活動の拠点になる防災センターとかそういったものも、町の方としては検討させてもらっています。これも県の支援を受けて、防災・減災事業として、そういうのを視野にとらえて避難所も含めて整備をさせていただいたというのも大変地元の皆さまも喜んでおりましたので、改めて感謝を申し上げたいというふうに思いますし、また今年度県のお力をいただいて再生可能エネルギー等の導入推進基金事業というのをいただいて、災害時に備えたソーラー発電をしていかうということで今年度は「まなびの郷」、それから、今年度に調査設計をして、来年度に事業を進めていかうということで、避難所に指定されています鶴殿小学校、井田小学校、相野谷中学校で整備して、電源が無くなった時に。鶴殿小学校なんかは救急拠点としていますので、お医者さんも色々な電源を必要と思われまうので、そういった点も踏まえて対応していかうということでございますので、それについ

でも引き続きご支援をいただきたいと思ひますし、こういう事業を県のお力添えをいただひて事業が実施できる状態になりましたことを改めて感謝を申し上げたいというふうに思ひます。以上でございます。

知事

ありがとうございます。特にダム運用部分についてはJパワーに対する働きかけをしっかりと腰を据えてやっていかなければならないということですが、私も同感でありますので、彼らも民間事業としてやっているものの、地域の理解や地域の協力なくしては自分たちの機能の存続もないわけですので、そういう部分をどこまでしっかりとらまえるかということもしっかり働きかけを共にやっていかなければいかな、と思ひていますし、のど元過ぎればということにならないように働きかけをしっかりとやっていきたいと思ひます。

それから濁水について西田町長おっしゃっていただいたように私たまたま日曜日に来ることが多いものですから非常にきれいな状況で、それかもう全く見えないかというような状況でありますので、またいずれにしても、西田町長始め地元の皆さんからの濁水に対する要請が大きいということについては奈良県知事も和歌山県知事も大変良く理解してくれましたので、しっかりと働きかけ、あるいは協議会での検証等含めてやってもらうように進めていきたいと思ひます。

2 新宮紀宝道路の早期完成～広域交通網の整備促進

紀宝町長

とにかく、知事が日ごろから本当にご配慮いただき当町の要望等も真剣に取り合ってお取組をいただきまして本当にありがとうございます。おかげさまで私共の新宮紀宝道路の事業化というのも成されたわけでございます。近畿自動車道及び熊野尾鷲道路の開通によりまして、当地と大都市との高速ネットワークがさらに身近になってまいりました。交通アクセスの向上による地域産業の発展、地域の活性化等のストック効果が表れているところでもございます。交通アクセスの向上により輸送時間の短縮効果等により、本町におきましても、バイパス沿いでございますけれども、コンビニエンスストアが1件オープンして、今さらに1件がオープンに向けて準備を進めているということでございます。これも物流のネットワークがしっかりと形成されてきたという結果だと思っております。また、本町の井内工業団地というところがあるんですけれども、ここにおいても住宅用火災報知機等を製造する企業から進出をいただき、本年の8月17日から事業を開始されたところでございます。企業の方の話聞いて

も、やはり本社工場が津市にあるんですけれども、私どもの所で基盤等色々なものを作ってそれを本社工場に送って組み立てをするということらしいのですが、やはりその道路が完成したことによって、時間が当然短縮されましたし、それから雨による心配、通行止め、それとこうカーブが多いですから、荷崩れとかそういったことが無くなって安定的になったと。それは正に道路の効果の最たるものだというふうに思っていますので、そういった意味では今後とも我々としても道路という社会資本をツールとしながら、いかに利用していくかということが大事になってくるんじゃないかなと思います。それと1点申し上げておきたいのは道路もそうなんですけれど、工場の社長さんのお話では紀宝工場で働いている人は非常にまじめで温厚で工場の品質管理ということもしっかりやってくれる大変真面目な優秀な労働力がある、そんなこともあって、我々も地域は地域でしっかりとそういう信頼を得ることが大事だと思いますので、今後とも引き続きよろしくお願いをしたいと思います。そして高速道路の話につきましては熊野市まで進んでおりますけれども本町まではあと一步のところまでとなっています。熊野川河口大橋を含む新宮紀宝道路の早期完成と、未事業化区間である近畿自動車道紀勢線（紀宝～熊野間）であります、早期に新規事業化するとともに、1日も早く紀勢線が全線開通するよう、ミッシングリンクの解消など、広域交通網の整備促進を要望いたすところでございます。

また、近畿自動車道紀勢線の整備促進をより推進していくために、県の組織において、これはどういう名称になるかどうか分かりませんが、県土整備部の新名神推進課のような紀勢線推進課、こういうものを設置していただいて県の推進体制の整備について、ご配慮いただきたいと思っておりますし、これから、新規事業の道路の事業が進んでまいりますと、当然、県のお力添えも必要ということも出てまいりますので、その辺を含めて、ぜひともご配慮をした中で事業促進ができるようによろしくお願い申し上げたいと思います。

知 事

はい、ありがとうございます。まず、新宮紀宝道路、6月に杭打ち式があつて、非常に私も感慨深い思いで参加をさせていただきました。紀伊半島大水害の時に熊野川の大橋を川の水が乗り越えていく、山から流れてきた流木が乗り越えていく、そういうような状況を思い出すと、本当に新宮紀宝道路の杭打ち式が行われたこと、本当に感慨深く思っていますので、一日も早く早期完成ということをお願いしているひとりでありますし、そのためにしっかりと力を尽くしていきたいと思っています。

国の方では今年度道路設計を進めて用地調査に入ると聞いておりますので、

しっかり協力をしていきたいと思えます。道路の関係では、先ほども少し御浜町長にお話をしたんですけれども、今、大事なことが2つあって、公共事業の総額確保をやはりしっかりしていかななくてはいけないと。今回国交省さんが対前年比16%増の上限いっぱいの概算要求を出していただきましたので、その公共事業の総額確保ができるように地方がしっかりと声を上げていくということが大事だと思っています。私自身も全国高速道路建設協議会の副会長もやっていますので、しっかり声を上げていきたいと思えますが、そういう場合、総額確保無くしては、個別道路は無いと思えますので、総額確保についても皆でしっかり協力していきたいと思えます。それから大事なこと2つ目は、先ほど町長からも言っていたストック効果。正に企業の立地の事とかコンビニのこととか、様々なストック効果があると思えますので、地域ならではのストック効果もあると思えますので、そういうのもどんどん提言していけるようにお知恵を頂ければと思えます。ミッシングリンクの部分についても道路は繋がって初めて効果を発揮しますので、地方創生のための道路、命を守るための道路そういう意味で一日も早くその未事業化区間が、平成28年度新規事業化に向けてしっかりやっていきたいと思っておりますし、こういう地方創生の中で、地方創生で各地域が知恵を出して競争しろと言うなら、道路というインフラが、競争条件が一緒でなければ地方創生の競争もできませんので、しっかり働きかけを続けていきたいと思えます。いずれにしても、新宮紀宝道路の所は熊野河口大橋を架ける会の皆さんをはじめ、地元の皆さんが長年にわたるご努力で、悲願であったと思っておりますし、それに私も紀伊半島大水害は知事就任以降に、お手伝いを少しさせていただいたということでもありますけれども、早期完成、そして広域交通網の整備促進のために私も力尽くしてまいりたいと思っております。

それから新名神推進課のような組織ということですけど、新名神推進課はその時の県の役割がNEXCOから委託されて用地買収がメインという、「県が用地買収をしっかりやらないと新名神が進みませんよ」という段階の時に作ったので、そういう県がしっかり果たさなければいけない役割が出てきたときには考えたいと思えますが、いずれにしても今も次長・課長以下、皆、近畿自動車道紀勢線については最優先事項のひとつとしてやっておりますので、しっかり頑張っていきたいと思えます。

3 特別支援教育の充実について

紀宝町長

「特別支援教育の充実について」ということで3点目をお願いさせていただ

きます、まず、始めに本町の取組を実施していく上に当たりまして、県の方からも格別のご理解とご支援をいただきまして心よりお礼申し上げます。特に紀宝町におきましては、三重県教育委員会の補修等のための指導員等の派遣事業の支援を今年からいただくことになりました。放課後の子供たちの安全安心な居場所づくりとして、また学力の向上を図っていくことを目的といたしまして、この放課後学習サポートスクールというのを実施させていただきました。これは町内の小学校を対象に希望者を募り週 2 回、町内すべての 5 つの小学校において放課後に学校を利用して宿題や授業の補習等の自主学習に取り組む場を設定し、紀宝町教育委員会が派遣する指導員が児童ひとりひとり、個に応じた支援を行っていくという取組です。7 月から実施したばかりでございますが、5 つの小学校で児童が 570 名ですけれども、113 名の児童が登録していただきまして放課後において自主学習を進めているところでございます。また、これまでも取り組んできたところですが、夏休みの長期休業中につきましても三重県教育委員会の地域による学力向上支援事業の支援をいただく中で、サマースクールというのを実施してまいりました。これは紀宝町生涯学習センターまなびの郷におきまして、放課後学習サポートスクールと同様に夏休みの宿題や自主学習をする学習の場を設定し、指導員が児童に学習支援を行うことにより学力の向上を図っていくというそういう取組でございます。昨年までは大体 20 名程度の参加をいただいて取り組んできたわけでございますけれども、今年はそのサマースクールには、教育関係者の皆さまのご努力があると思うんですけれども、183 名の子供たちの登録がございました。会場にも入りきらず、登録者を 4 つのグループに分けて実施するほど多くの児童に参加をしていただきました。19 日間の開催を行いまして、延べ 1173 名の児童が夏休みの宿題や自主学習に取り組むことができたところでございます。今後も、少し足を引っ張っているところもあると思うんですけれども、しっかりと学力向上に向けて取組を推進してまいります。昨年に続き、少しは努力の結果が出てきているようでございますので引き続きこのご理解ご支援を賜れますようお願いを申し上げたいと思っております。

それとつづきまして、特別支援教育の充実についてですけれども、近年国内外において、障がいがあってもなくても、一人ひとりを大切にする共生社会の形成に向けた取組が進められているところでございます。三重県の教育委員会におかれましても、平成 27 年 3 月に三重県特別支援教育推進基本計画を策定し、共生社会の形成に向けてインクルーシブ教育システムの推進により、子供たち一人ひとりの教育的ニーズに的確に応えることができる、連続性のある多様な学びの場を整備していく計画として、各種の取組が進められております。我々としても取組について評価をさせていただきたいと思っております。

そのようなことから、本町におきましても、特別な支援を要する幼児・児童・生徒・保護者と、就学前からの相談等を実施する中で町立小中学校特別支援学級への進学を希望する児童・生徒が増加をいたしております。つきましては、特別支援学級の増設を三重県教育委員会へ要望いたしているところでございますが、県の方のご努力も十分にわかるんですけれども、保護者からは障がいが重度、あるいは重複化・多様化する傾向にあるということなどから、一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の一層の充実が求められておりますことから、特別支援教育をさらに推進していくために、特別支援学級編制標準を引き下げてください、特別支援学級の設置を進めていただきますよう要望したいと思います。

また、本町におきましては現在、幼稚園・小・中学校の特別な支援を必要とする子供に対して、これは保育所を含めたものですけれども、担任 1 人で対応するには限界もございますことから、担任をサポートする特別支援教育支援員というのを適正に配置をしているところでございます。支援が必要な児童・生徒のすぐそばに行くことができる支援員の存在は特別支援教育の充実を図っていくことにおきましては、非常に効果的であり、支援者によって児童が落ち着き、学級への対応が進むことによってより学習のしやすい教室環境が生まれているところでございます。このため、保護者・児童生徒・教職員から支援員の配置を望む声が多く寄せられているところでございますが、一方で町単独の財政的には限界もございます。現在 19 人の支援員の配置をしながら事業として行っているところでございます。そういったところから、特別支援に対する財政措置・支援制度を充実していただけると大変ありがたいと思っておりますので、その辺りにつきましてもご配慮いただきますようお願いをいたしたいと思います。以上です。

知 事

まず、学力向上における放課後サポート等の地域の取組、大変ありがたいと思いますし、我々の分析でもこのような地域の関与が多い学校ほど、例えば全国学力・学習状況調査において成果が上がっているというようなこともありますので、引き続き放課後におけるサポート、またその中身等についても、我々県の教育委員会もしっかり指導主事を中心に協力・サポートさせていただきたいと思います。8 月 25 日に発表のあった今年度の全国学力・学習状況調査結果においても、県全体としては道半ば厳しい状況にあるものの、一定の改善がみられるところもありました。ポイントは組織的対応をしっかり学校でやっただくということが非常に重要でありました。今日の午前中にあった総合教育会議において、分析結果の報告がありましたが、いわゆる私たちが 3 点セット

と言っている「ワークシート」、県独自のそれぞれの分野がきちんとできているかを検証する「みえスタディ・チェック」、それから「全国学力・学習状況調査の活用」、この3点セットをしっかりとやっていた学校ほど成果が上がっているということもありました。また、生活習慣のチェックシートというのも実施していますが、これを家庭でしっかりとやってもらっているところほど今回改善がみられているという傾向がありますので、紀宝町がしっかり取り組んでいただいている放課後サポートに加えて、今の学校における組織的対応や家庭の協力がさらに深まれば、それと相まって、さらに改善が見られるんじゃないかなと思っています。ただそういう面も、我々としては思っているのはきめ細かく、市町教育委員会とやり取りさせていただいたところほど、ほぼ2/3ぐらいの学校だったんですけど、成果が挙がっているというのもあるので、やはり県としても人的資源が限られている教育委員会のサポートをきめ細かくやっていく体制というのはこれから大きく考えていかなければいけないことだなあというふうに思っております。また学力向上についても緊密にやっていきたいと思っております。

特別支援教育ですけれども、まず紀南地域につきましては、本当にお待たせしておりましたけれども、28年度内完成に向けてくろしお学園の統合整備をしっかりとしていきたいと思っています。それから特別教育支援員につきましては、ご案内の通り平成19年度から交付税措置されているというような状況の中で紀宝町でしっかり配置をしていただいているということには敬意を表したいと思っています。この特別支援教育支援員に対する財政措置の拡充、それから先ほど町長おっしゃっていただいた学級編制、特別支援学級におけるこの標準の引き下げにつきましては、この5月も我々の方から文科省の方に要望をさせていただきましたので、引き続きその要望を実現するべく、取り組んでいきたいと思いますし、特に国の中央教育審議会の作業部会で特別支援教育支援員の配置や財政の事について議論されていると聞いていますので、その動向も十分に注視をしていきたいと思っております。また県の方としましては、校内の特別支援教育コーディネーターの支援という観点から県単独での非常勤講師の配置も、紀宝町も含めてやらせていただいておりますので、そういう部分も限られた財源でありますけれどもしっかりと取り組んでいきたいと思います。

特別支援学級の増設につきましては、紀宝町で27年度に2学級増設したばかりというのがありますので、いずれにしましても市町教育委員会の皆さんからの要請を踏まえながら、これからまた増設とかそういうのも、全体の状況を見て考えていきたいと思っております。

いずれにしましても今教育施策大綱というのを議論しているんですけども、そこも特別支援教育というのもひとつの大きな柱にして取り組むことにし、今

日中間案を示させていただきましたので特別支援教育の部分、本当に子ども一人ひとり状況が違うので、子ども一人ひとりに適切な教育やケアができるようにということを十分に配慮しながら市町教育委員会の皆さんと協力をしてやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

紀宝町長

知事からお話がありましたように 3 点セットの部分についてやはりしっかりと指導していただひていますし、全国学力・学習状況調査の中で、課題というのは非常にわかっているという状況でございますので、そういったところを別に点取りゲームではないですけれども、それだけすべてはないですけれども、そういう繰り返しとやはり地域と学校が連携することが重要と考えています。今回、私も放課後サポートスクール、それからサマースクールにこれだけ沢山申し込んでいただひて本当にびっくりしました。本当に地域の皆さま方に少しでもご理解いただけた結果だと思ひておりますので、その辺も含めてよろしくお願ひしたいと思ひます。また、お礼を言うのを忘れましたが、くろしお学園の方もひとつよろしくお願ひしたいと思ひます。やはり、きめ細やかな個々に合わせた指導をしていただくためには、臨床心理士みたいな資格を持った人を配置していただく中で、それぞれに合わせて対策・対応を指導していただくという形が大事じゃないかなと私は思ひているんですけれど。そういった意味ではこれからこういった形で指導ができるような体制づくりに向けてまたご配慮いただければありがたいなと思ひていますし、学級編制の部分につきましても、知事がおっしゃっていただきましたように、私もこの間聞かせていただきますと 8 人のところ約半分ぐらいの中で対応していただひているということは感謝を申し上げたいと思ひますが、町のご事情もご考慮いただき、少しご配慮を是非お願ひしたいと思ひます。

紀宝町長

道路の方はこれも大変ご配慮いただひていますので、この後も引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

特に総額確保をおっしゃっていただひたように、これはお金が無いと当然仕事もできない話ですし、我々としても、今の状況を見ているとミッシングリンクのことも早くやっていただひきたいのですが、その新規事業になった部分の仕事も済んでないのに新しい道路をまたやるというのはいかがなものかというのが、予算的な配分も全国的に非常に難しい部分がある。その辺我々としても責任が重いものがありますので、できるだけ今実施事業化している部分についても、色々課題とかございますけれども、しっかりとその辺をご理解いた

だく中で、早く進める。我々も頑張ってお支援いただき、そして次のミッシングリンクにつながっていただけるように、我々も頑張っていきたいと思しますので、ご指導いただきますようによろしくお願ひしたいと思ひます。

知事

今の教育の事と道路の事はおっしゃっていただいたとおりにしっかりとがんばっていきたくと思ひます。冒頭、サミットの事を町長からおっしゃっていただきましたので、我々としては特に距離が離れているところであっても、食材とかお土産品とかそういうものの提案もお願ひをしているところでもありますので、私どもとしては1品でも多く食材とか、あるいは加工品とかそういったものが使われるようにというふうに提案をしていきたくと思ひますので、またそういうご提案もいただければと思ひますのと、後、応援事業という形で、民間の方々になることが多いんですけども、何かサミットの応援ということでイベントを開催していただいたりサミット開催記念で盛り上がりみたいなのをしていただいたりとかそういうのをしていただくと全体の機運醸成でいいかなと思ひますのと、後近くなってきましたら、全体的に会場周辺だけでなく全県下で花いっぱい運動とか、あるいはクリーンアップ作戦とかやっていきたくと思ひますのでそういう部分でのご参画を頂けるとありがたいと思ひますのと、また子供たちに何か残していくというのも今考えたいと思ひますので、子供たちの参画等も全体的に色々お願ひしていこうと思ひしておりますので、それについてはまた具体的にできたら申し上げたいと思ひしておりますので、ご協力をお願ひしたいと思ひます。いずれにしても、全県下ひとりでも多くの県民の皆さんが参画をしていただくサミットにしていきたくと思ひますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

紀宝町長

ありがとうございます。我々としても、知事おっしゃっていただきましたように花いっぱい町をきれいにしていこうというようにことがございましたらおっしゃっていただければ、我々としても何とかそうやってご協力いただけることを探していきたくと思ひますし、ひとつだけ1点だけお願ひをしておきたいんですけども、伊勢志摩でされますよね。そしてセントレアが中心になるのか、関空に行かれるのか、それによってこの地域を通過していただけるひとつの状況というのも変わってくるかなという思いもしますので、その辺の状況も私共全然わかりませんのでまたそういう情報等ございましたら、どうぞよろしく情報提供していただければありがたいと思ひますし、努力していかなければと思ひます。

今日は非常に天気悪くていろいろとご心配な部分もあるので今日はここまでとしてお帰りいただきまして、またこれからの災害等の無いように対策お願いしたいと思っております。ありがとうございます。

(3) 閉会あいさつ

知 事

西田町長ありがとうございました。今おっしゃっていただいたサミットの情報提供につきましてはしっかり市町連絡会議をやらせていただきながらお話をさせて情報提供をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思います。

それから今日は、本当はこの後「すごいやんかトーク」もお願いする予定だったんですけども、この台風18号の警戒ということで延期にさせていただきましたので、くれぐれも関係の皆さまにはお詫び申し上げておいていただければと思います。いずれにしましても、今日も防災、あるいはインフラ整備、また人づくりと地方創生にとっては重要な部分について町長からお話をいただきました。しっかりこれからも連携して頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。ありがとうございました。